NPO法人・IGKC 東北地区クラブ 会 報 第104号

正観

2025年 11月号

(無情の現象界の奥に恒常不変の本体的、理念的なものを正しく心に写し対処する) 会 長 曽根 孝悦 ・ 幹事長 三條 貞夫 ・ 事務局長 遠藤 近志

例年になく早い冬の到来となりましたが、皆様にはお変わりなくお過ごしのことと存じます。

10月の IGKC 創立60周年記念全国例会・国際親善剣道大会には多くの会員の方に参加していただき有難うございました。また、記念大会に相応しい大会にしていただいた主管の関東地区クラブの皆様には厚く御礼を申し上げます。

さて、この度は遠藤勝雄先生が剣道功労賞を受賞され誠におめでとうございました。 先生のご指導で深く剣道を学べることは有難く改めて御礼とお祝いを申し上げます。

また、今回の北上例会では井上均先生の八段昇段祝賀会を開催しましたが、これまでの稽古ぶりや心構えなどをお聞きして、大いに盛り上がりました。今後とも指導陣の一員として当地区クラブの発展にご尽力くださいますようお願いいたします。

今年度の地区例会はあと1回を計画しておりますので会員に皆様には是非ご参加の上、 研鑽の機会にしていただければ幸いです。

> NPO 法人 国際社会人剣道クラブ 東北地区クラブ 幹事長 三 條 貞 夫

1 遠藤勝雄名誉会長 全日本剣道連盟功労賞ご受賞!

全日本剣道連盟の剣道功労賞は平成7(1995)年に発足され、長らく剣道の普及に尽力された功績に対して贈られる賞です。2025年は遠藤勝雄名誉会長がご受賞されました。

永年にわたる学校剣道の普及へのご尽力、宮城県のみならず東北地区の剣道普及への貢献、また全日本剣道連盟においては数々の委員、審査員、各種講習会講師を務められるなどご活躍され、現在も小学生から高齢者までの剣道指導をされて生涯剣道を実践し剣道の普及・振興に尽力されている功績を称えて贈られました。

心よりご祝辞を申し上げますとともに日頃のご指導に深く感謝申 し上げます。



2 岩手県北上市例会の報告



11月8日(土)、9日(日)の2日間、岩手県北上市の「ふるさと体験館『北上』」において令和7年度第5回目の東北地区クラブ例会を開催いたしました。8月の審査で八段にご昇段された井上均先生はじめ19名の会員の方にご参加いただき充実した例会となりました。大変熱心にご指導をいただきました遠藤勝雄先生、並びに曽根孝悦先生、佐藤孝康先生、井上 均先生に御礼申し上げます。また素晴らしい会場をご高配くださいました曾澤先生、並びにご参加くださいました会員の皆様に心より感謝申し上げます。今回ご都合のつかなかった皆様も次回は是非ご参加くださいますようお待ちしております。











~ 1日目 ~

審查研修

八段受審者 9 名、七段受審者 3 名が参加され緊張感のある立合いの後、ひとりひとり に対して遠藤勝雄先生、佐藤孝康先生から丁寧なご指導を賜りました。









会員同士の回り稽古

引き続き、曽根先生のご指導で会員同士の基本稽古と互角稽古を実施しました。

指導稽古

さらに遠藤先生、曽根先生、佐藤先生、井上先生の4人の八段の先生に元に立ってい ただいて稽古をいただきました。

懇親会

沢山の祝い酒が並べられ、地元の照井先生の乾杯の音頭により初受審で八段合格された井上均先生の祝賀が盛大に催されました。昇段の記念品が曽根会長から贈呈された後、参加者が一人ひとりお祝いの言葉を述べさせていただきました。

美味しいお酒を酌み交わしながらも日本剣道形の奥深い話など、剣道談議は益々熱く盛り上がって尽きることがありません。部屋に場所を移しての第三道場もまさにザ、道場!学びの多い剣道談議が続きました。

























~2 日目~

2日目は「**攻め込んで打つ、引き出して打つ**」をテーマに遠藤勝雄先生から普段は聞くことのできない詳しいご指導をいただきました。剣道修行における「素振り」を通じた刀法の基礎習得、対人稽古における「攻め崩し」から「打つべき好機」に至るまでの捉え方のヒントを講話及び実技講習を通じて学びました。内容の濃い大変貴重な研修内容でしたので会員の皆様には改めて特別資料としてお伝えすることも考えております。

最後に「いろんな技をマスターして、次まで徹底して研究していただきたい。分かっていることを知識だけにせず、汗をかいて修業してください。そうすれば国際社会人剣道クラブのレベルも格段に高まり、皆さんの目標にも近づくと思います。次回まで発展しているか楽しみにしております。」と課題と講評をいただいて終了となりました。









(1)参加者(敬称略・順不同)

宿泊:遠藤勝雄、曽根孝悦、佐藤孝康、井上 均、照井悦信、佐々木幹彦、阿部東悦、

阿部東司、小淵俊江、欠端 學、小林房雄、渡邊一仁、江俣和代稽古:會澤秀彦、菅 義行、小原博生、及川勝政、及川成美、盛島明彦

3 全国、例会のご報告!

創立60周年全国例会・第22回国際親善剣道大会が10月24日(金)~26日(日)の3日間、関東地区クラブの主管により、東京都「目黒区立中央体育館」および港区「東京プリンスホテル」において開催されました。参加者は249名(韓国39名、台湾31名、オーストラリア6名、アメリカ15名、スウエーデン1名、東北12名、東海26名、近畿21名、中国13名、九州11名、関東74名)でした。東北地区は団体に2チーム出場いたしました。Bチームは3回戦で準優勝の韓国チームに惜敗、Aチームも力を出し切れず韓国チームに敗れました。再来年の東北地区主管の全国例会までには会員の強化と共に若手会員の参加にも力を入れていくことが課題だと曽根会長からご指摘がありました。

<東北地区団体メンバー>

(敬称略)

	監督	先 鋒	次 鋒	中堅	副将	大 将
Aチーム	曽根	文	小 淵	西口	江 俣	三浦
Bチーム	曽根	及川勝政	及川成美	小 林	阿部東司	阿部東悦

24日は自由稽古・合同稽古、25日は理事会と審査研修・男女個人戦・合同稽古、夜 は臨時総会と大懇親会、26日は国別・地区別団体戦、自由稽古が実施されました。

◆試合結果は以下の通りです。

【団体戦】 優勝:韓国E、 準優勝:韓国A、 3位:関東B

【個人戦男子】

59歲以下優勝; 菊池雅樹(東海)、準優勝:宋東柱(韓国)、3位:浅野貴博(近畿) 60歲以上優勝:深谷 修(東海)、準優勝:山田昭典(関東)、3位:栗原利光(関東)

【個人戦女子】

六段以上優勝:大串真裕美(関東):準優勝:得津知沙(東海)、3位:小島克枝(東海)

五段以下 優勝:小島真世(東海): 準優勝:Alex Paukovits(オーストラリア)

3位:河見知恵(オーストラリア)

今年も見応えのある白熱した試合の連続でしたが、海外選手の活躍が注目を集めました。とりわけ韓国の選手のスピードとパワーを活かした力強い面打ちや迫力溢れる技は 印象的でしたが着実に質の向上に努めている様子が伺えるものでした。







臨時総会は東京プリンスホテル2階プロビデンスホールにおいて19時から開催され、 曽根理事長により議案の説明がなされて満場一致で承認されました。詳細は後日本部か ら送付される資料をご覧ください。

- ◎2025年度補正予算(案)、2026年度事業計画(案)および予算(案)
- ◎台湾・高雄、ラトビア等、韓国、オーストラリア等の海外交流事業については同様に 実施する考え。
- ◎2026年度理事会・通常総会および懇親会は例年通り5月3日(日)、「ホテルオークラ京都」で行なう予定。
- ◎2026年全国例会・国際親善剣道大会は九州地区クラブの主管で10月2日(金)~4日
- (日)、 熊本県熊本市「ナスパワーアリーナ(熊本市総合体育館)」で開催予定。

4 今後の地区例会の予定

	開催予定日	開催場所	備考
地区例会	令和8年2月1日(日)	宮城県仙台市	ウイーン剣道連盟の
		泉武道館剣道場	ロート会長参加予定

◆ 当クラブ副会長(本部理事長)曽根孝悦先生の著書紹介

「剣道は難しい、だから、楽しい」この著書は曽根先生が剣道を始めてから現在に至るまで、剣道を歩んできた事を集約したもので、指導の手引きや自分の剣道を高めるのに必ずや役立つものと思います。1冊1,000円で領布致します。各地区の指導者の皆様にも是非お勧めください。数がまとまれば発送いたします。

他地区クラブの幹事長紹介

お仕事や旅行などでお出かけのときは、剣道具を持って交剣知愛の機会をおつくりください。各地区クラブでは、どこでも大歓迎をしますよ。

北海道地区クラブ幹事長代行 出村大光氏 s-bungu@axel.ocn.ne.jp

関東地区クラブ 幹事長 中川岳人氏 nakagawatake@catv296.ne.jp

東海地区クラブ 幹事長 酒井武信氏 take3305501@gmail.com

近畿地区クラブ 幹事長 久保達也氏 tatsuyakubotatsuya@gmail.com

九州地区クラブ 幹事長 池永祐一郎氏 yuici.kng@gmail.com

編集後記

「正観」第104号は井上先生の八段合格への稽古や私達へのアドバイス等を盛り込んでお伝えすることができました。北上市例会2日目の遠藤先生に講師を務めていただいたテーマ研修は大変内容が濃く今回の会報でお伝え出来なかったことをお詫び申し上げます。剣道の修行は「守破離」と言われますが「守」は正しいことを繰り返し稽古して身につけなければなりません。是非例会に参加されて剣道を正しく学び、自分の剣道を見直す機会とされてくださいますようお待ちしております。 (江俣和代)